

平成20年2月議会討論概要 (自由民主党代表質問抜粋)

□質問／知事就任以来、二度の震災や豪雪など大災害に遭遇しながらも、県政運営トップとして被災地の復旧・復興に全力で取り組んだことは、240万県民が等しく承知している。1期・3年数ヶ月を振り返っての所見を伺う。

■答弁／二度の震災など自然災害が多発した中で、あつという間であり、まさに全力で駆け抜けてきたというのが実感。

一方、災害に遭われた方々の中には、大切なご家族を亡くされたり、家屋の全壊により仮設住宅に入るなどして、時間が止まっているような長い時間を過ごされた方々もおられることから複雑な感想も持っております、これらの災害からの復旧・復興を第一の重点に置くとともに「誰もが安心して暮らせる地域社会づくり」「将来に希望の持てるふるさとづくり」の2つを大きな目標に据え県政の推進に取り組んでいます。

□質問／地方自治法施行60周年記念硬貨に関して、本県は平成21年に「トキめき新潟国体」の開催やトキの放鳥、「2009大観光交流年」を控えており、これらを意図した記念硬貨の発行が望ましいと思うが。

■答弁／「2009大観光交流年」と位置づけている平成21年は、本県を全国に向けて発信していく様々なイベントやキャンペーンが重なっています。

県としては、この機会に「トキ」を図柄にした記念硬貨を発行することにより、本県観光を一層盛り上げていきたいと考えており、他県の理解を得た上で、平成21年に記念硬貨を発行できるよう全力で取り組んでいきます。

□質問／平成20年度当初予算案の特徴と、編成に際し特に意を用いた点などは。

■答弁／相次ぐ災害からの復旧・復興を第一の課題を踏まえ、人口の自然減、社会減への対応が喫緊の課題と考えています。

そのため、政策プランの中間評価結果を踏まえ、政策の選択と集中を進めながら「安心して子育てできる環

境の整備」や「個を伸ばすひとづくり」「安定した雇用の場の創出・確保」など、少子化対策を中心とした人口減対策に重点的に予算配分した。経済成長著しい対岸諸国を見据えた本県拠点性の向上や、勤務医確保対策をはじめとした福祉・医療サービス充実など「誰もが安心して暮らせる地域社会づくり」「将来に希望の持てるふるさとづくり」を目指した予算編成を行った。

□質問／歯の健康を増進するため、我が党は今年6月定例会に、歯の健康増進の条例提案すべく準備を進めている。このような条例制定についての見解は。

■答弁／歯の健康は、栄養・食生活を通じ全身の健康に深く関係しており、健康づくりにおいて重要。本県は12歳児の一人平均むし歯数が全国一少ないなど、歯科保健対策の先進県ではあるが、

- (1)むし歯数やその取組の地域間較差の是正
 - (2)歯周疾患対策
 - (3)高齢者や障害者に対する歯科保健対策
- などの課題も残されており、全国に先駆けて歯の健康増進のための条例が制定されるることは意義がある。

□質問／産業振興について、新年度から「観光局」新設や、観光振興を目的とした条例制定を計画しているが、狙いと今後の取組は。

■答弁／観光局新設は、2009年大観光交流年に向けた取組の充実に加え、旅行者ニーズの高度化・多様化に対応した中長期的な視点での戦略立案機能等を強化するもの。

また、観光振興のための条例は、観光立県に向け着実な歩みを進められるよう、県はもとより各関係者の立場で取組が実効性のあるものとするための条例として制定したいと考えています。

今後は、こうした観光振興基盤となる体制等の整備を踏まえ、大観光交流年推進協議会を中心に各種イベント等を効果的に活用するよう官民一体となった統一

的な取組の展開を図るなど、3年間に二度に渡る地震からの本県観光の復興に全力を挙げて取り組んでいただきたい。

□質問／県内産業界は、人材確保に苦労している企業も多い。一方、首都圏で働く本県出身者のうち、約3割程度の方がふるさとで働きたいという願望を持っていると聞く。Uターン就職の促進に向けて取組は。

■答弁／首都圏在住の本県出身者に対する調査によると約3割がUターンを希望しているが、Uターン希望者は、就業環境の変化や収入面での不安を抱えている。これらを解消するため「余暇時間の充実や、収入が低下したとしても大都市圏に比べ、住環境などゆとりが確保できること」や「県内には、独自技術力を持ち、世界シェアも高い企業が多数あること」などの情報を十分に伝える必要があると考えている。このため、県では、魅力ある企業群の情報発信の強化。第二新卒者等をターゲットとしたリクルート活動支援。首都圏大学との連携強化。などにより、Uターン就職促進に重点的に取り組んでいきたい。

□質問／3月17日就航目標であった「三角航路」は、関係国出資の遅れなどから、3月就航を延期したとの報道があった。現状認識と今後の見通しは。

■答弁／この日本海横断フェリー航路の開設にあたって、日韓中ロの関係者協議と合意形成が進められてきたが、運航会社設立に向けた各国の出資時期や運賃等の条件について調整に時間を要したため、運航会社の設立が遅れたと認識している。

日本側投資会社によれば、航路運航会社設立後、具体的な運航ルートやサービス等について検討を進め、早ければ今年夏頃に航路開設されると聞いており、このスケジュールが確実になるよう、必要に応じ関係機関に働きかけ、財政的支援についても前向きに検討していきたい。

■活動報告(主なもの)

1月 5日(土)	市場初セリ
1月 6日(日)	消防出初式
1月11日(金)	新津商工会議所賀詞交換会
1月12日(土)	自民党県連青年部街頭演説
1月16日(水)	県庁各部局予算要望ヒアリング
1月22日(火)	自民党県議1期生県内視察(県央地域)
1月23日(水)	道路特定財源堅持を求める都道府県議会議員決起大会
1月26日(土)	東京新潟県人会新年祝賀会
1月29日(火)	自民党県連青年局総会
2月 2日(土)	小林一大新春県政報告会(一楽様にて)
2月 6日(水)～ 8日(金)	総務文教委員会県外視察(福岡県、佐賀県)
2月12日(火)	藤原正彦氏講演会(自民党県連政調会主催):詳細はHP
2月18日(月)～ 3月19日(水)	2月定例議会
3月 4日(火)	佐渡冬季風浪被害災害視察
3月 8日(土)	自民党県連青年部総会
3月25日(火)～26日(水)	山梨県北杜市視察
3月28日(金)	八木秀次氏講演会(新政策研究会主催):詳細はHP



〈議会に遊びにきませんか〉

本会議や委員会などの審議はどなたでも傍聴することができます。ぜひとも、お越しください。次の6月定例会の詳しい日程並びに、小林一大の一般質問などの日程はホームページなどでお知らせいたします。心からお待ちしております。

■各種要望、座談会受付のご案内

皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡ください。また、3人程度お集まりいただければ、当方よりお邪魔し、出張ミニ県政報告会を開催させていただきます。お気軽にお声かけください。

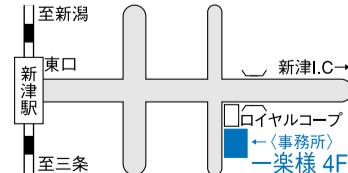
■研修旅行のご案内

7月中旬、話題の「直江兼続」ゆかりの地を訪ねる1泊2日の研修旅行を企画しています。ご興味のある方は事務所まで、お名前、ご住所、お電話番号をFAXにてご連絡ください。詳しいご案内を郵送させていただきます。

■事務所のご案内

下記住所にて事務所を設置しております。
お気軽にお立ち寄り下さい。

新潟県議会議員 小林 一大事務所
〒956-0864 新潟市秋葉区新津本町2-7-10
TEL 0250-24-8339 FAX 0250-24-8328
メールアドレス nra49509@nifty.com



■所属委員会及び党役職、所属議連

□ 総務文教常任委員会	□ 北朝鮮に拉致された国民の救出を支援する新潟県議会議員の会
□ 少子高齢・青少年対策特別委員会	□ 砂防事業促進研究会
□ 議会広報委員会	□ 障害福祉議員連盟
□ 自由民主党新潟県支部連合会 政務調査副会長	□ 保育事業振興議員連盟
□ 自由民主党新潟県支部連合会 青年部顧問	□ 接骨士会事業促進議員連盟
□ 園芸振興議員連盟	□ 防衛問題議員連盟
□ 観光産業振興議員連盟	□ 森林林業振興議員連盟
□ 商工業振興議員連盟	□ 金融・経済政策研究会
□ 農政研究議員連盟	□ スポーツ振興議員連盟
□ 土地改良議員連盟	□ 看護対策議員連盟
□ 文化振興議員連盟	など
□ 新潟県「佐渡金銀山」世界遺産登録推進議員連盟	

小林 一大
ホームページアドレス

<http://www.kobayashikazuhiro.com>
(アクセス拡大中! ブログ、メルマガなど盛りだくさん!)